

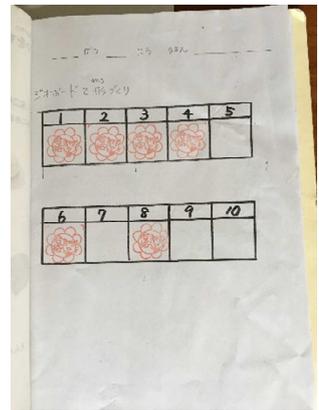
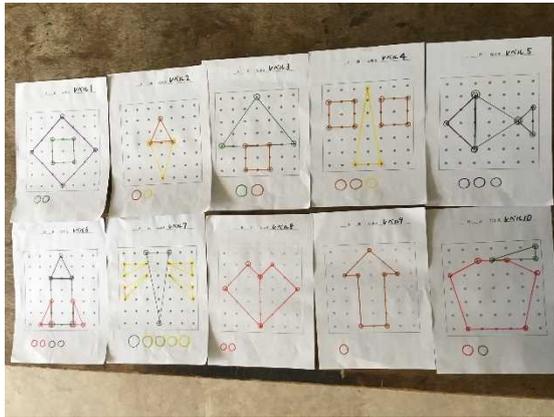
教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
ジオボード	高	合科 (数学)	勇栄二

<ねらい>

- 三角形や四角形を自分で操作して作ることに慣れる。
- 場所、空間の認識力をレベルアップさせる。
- 目と手、両手の協応させる力をレベルアップさせる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- 21cm四方の板に3cm間隔くぎを49本打つ。
- 見本の紙などを見ながら、カラー輪ゴムをかけていく。
- 10枚黒板に貼り、できるものを自分でとってできたら、はんこをもらう。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- 7×7本のくぎのボードを使用したか、生徒によっては難しいため、5×5本のボードからスタートし、レベルアップしていく方がよいかと思えます。
- 「右から～番目」と数えることも少し意識させましたが、ボードに数字を書くなど個別の対応することで
- 10個の課題を提示し、できたらハンコをもらう形式にしたことで、意欲的に取り組めた生徒もいました。

<その他（材料、費用、購入先等）>

板（廃材）・くぎ24mm・カラー輪ゴム¥108（Seria）

参考HP （有）理学館 www.rigakukan.com/geoboard/aboutgeo.html